

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2021年 1月 4日

事業所名: 夢門塾ゆうゆう高木

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1		広いスペースを確保できている 室内活動時、個別に縄跳びをする際に、縄が当たることがある。
	② 職員の配置は適切である	6	1		利用児童数によって調整している
	③ 衛生面の管理が行き届いている	5	2		手洗い、うがいの徹底 次亜塩素系での消毒実施 調理の時、座位姿勢の際に、手を床につけてしまう児童がいて、気になることがある
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		随時行っている 個人々での改善に対する意識の均質化が求められると感じる。振り返りの時間を作り、確認をしていく必要があると思う
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7			アンケートの結果をまとめ、ケアカンファレンスで集合した場などで周知し、改善策を立てて、改善に結び付けている
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6	1		ホームページにて公開している
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	1		月に一度ケアカンファレンス開催 全職員対象の研修開催 研修内容の周知とその活用がさらに望まれる
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1		利用開始前にはサポートブックを作成し、アセスメントを行っている
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	5	2		当日、出勤者で話し合っている
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	3	4		マンネリ化になりつつある時もある 活動のバリエーションを増やせるような工夫を常に意識して行いたいと思う
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1		様々な体験をできるように計画を立てている
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	3	4		特性により、運動機能の差がある。それに応じる活動を組み合わせられていない時もある 個別活動に携わる職員が固定化されたり、活動の内容に変化が乏しかったりする。新しい活動を取り入れるよう話し合いをしたい
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			口頭で説明、申し送りノート活用
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	1	個人の視点、記入力の違いを感じることもある
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		半年に一度モニタリングを実施
⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	6		1	コンセプトに沿った活動内容を取り入れている	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		下校時間の紙を頂いている 何か起きた時には連絡を取り合っている
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	2		連絡協議会の場等で、顔を合わせた際に、意見交換を行っている
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	6	1		連絡協議会の場等で、顔を合わせた際に、意見交換を行っている
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		研修に参加している
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1		随時、送迎時や電話、連絡帳などでやりとりを行っている
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	2		契約時に口頭で説明をしている
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	3		随時、送迎時や電話、連絡帳などでやりとりを行っている 保護者様の思いとのズレを感じることもあり、それを無くしていきたい
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		1	6	コロナ禍で開催できていない
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		苦情を受けた際には、すぐに職員に周知し、改善に結び付けている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1		月1回広報誌、行事予定配布している
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	2		連絡帳を記入する際に色々な関係性に注力していかなければならないと再確認した 連絡帳、個人記録を記入する際に、児童の目に触れることができ、注意していかないといけない
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	3		連絡帳、送迎時、電話にてやりとりを行っている
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	5		2	朝市等開催している
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	2		中途の方へ周知できていないところがある
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7			年2回は必ず実施している
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		必ず研修を実施している 虐待の定義を一人ひとり再確認し、適切な対応をしていかないといけない
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	1		身体拘束を行うケースがない 契約時に説明をしている
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7			連絡帳にも記入して頂いている 飲み終えた薬の外袋は捨てずに持ち帰っている
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7			ヒヤリハットを記入し、話し合いを行い回覧をしている